

# 米山奨学部門クラブ委員長会議報告

米山奨学推進委員長 松田正己 (所沢中央RC)



クラブ米山委員長会議が7月27日、北坂戸オルモにて開催されました。

まず高山ガバナーより、米山奨学事業の重要性が説かれ、それに引きかえ厳しい経済状況と地区会員の減少で今年も大変な年度を迎えているが、お互い知恵を絞って頑張りましょうとあいさつがありました。

米山記念奨学会の金子理事からは、米山奨学事業誕生の歴史の分かりやすいお話があり、引き続き井花部門委員長より今年度の米山奨学部門の活動方針と事業計画の総括的説明がなされました。

具体的な活動方針と学友会については西澤委員長より、推進委員会からは私がお願い方々ご説明申し上げ、内容については次のとおりであります。

1. 今年度の地区目標数字は3,500万円、1人当たり約1万6,000円となります。地区目標数字は今までより減りましたが、会員数の減少により、1人当たりの寄附額は増えておりますので非常に厳しいものがあります。したがって10月の米山月間には万全の対応について説明方々お願いしたい。
2. 各クラブとも普通寄附を年間6,000円にお願いしたい。
3. 米山功労者表彰が変わり、特別寄附が30万円から10万円に変わりました。それに伴い、準功労者と米山ファンドフェローは廃止となりました。
4. そのため昨年特別寄附額0のクラブには格別のご協力をお願いし、また地区大会、各クラブの周年記念事業についても特段のご協力をお願いして、特に各クラブについては、1人当たり1万6,000円×会員数の目標数字達成に全力投球をお願いしたい。
5. 奨学生・学友活動については9月の米山記念館の研修旅行、11月の入間川河原でのバーベキュー大会、6月の学友会総会等、今年度も奨学生・学友とのふれ合いの場を設け、さらなる親睦を図りたい。

以上の内容でありましたが、最後の質疑応答には各クラブ委員長の関心も高く、活発な意見交換も見られ、有意義な会議でありました。

